

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

○教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ

○教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する

○学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する

○小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラムなど、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

更に、個々の障害の種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する

児童生徒の障害の程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。本年度は41名の養護補助員を22校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする、児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、本年度は22名の特別支援教育支援員を22校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、成田小学校、公津の杜小学校、本城小学校、下総みどり学園に県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携や外部機関との連携など、効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を令和2年度までに30%となることを目指します。

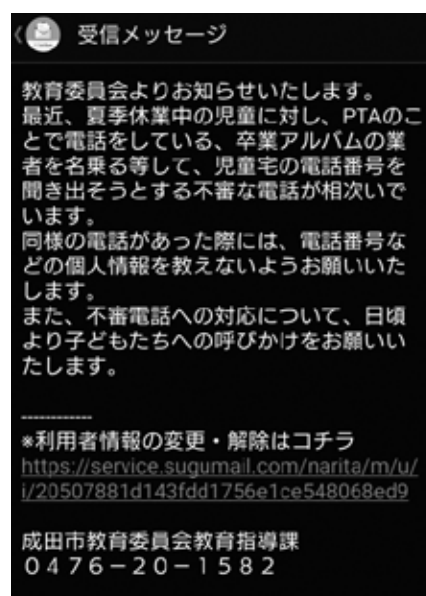
そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」(低学年水泳指導)の充実のために、小学校12校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

更に、運動部活動の顧問教諭による技術指導が困難な学校に対して、専門的な指導力を備えた外部指導者を派遣し、運動部活動等の更なる充実及び活性化を図ります。本年度は小中学校10校に、24名の指導者を派遣しています。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導(不審者対



携帯電話へ不審者情報を配信

応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

更に、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。



通学路合同点検

(7) 情報教育の推進

学校教育のICT化を推進し、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会については、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ、指導者用デジタル教科書等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するICT研修会には、インストラクターを紹介し、タブレットを導入した学校には、ICT支援員を派遣するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

(11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるよう取り組んでいきます。これにより、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教員の負担軽減を図ります。本年度は昨年度までの13校から更に1校を加え、14校で実施していきます。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年3回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障害などのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を4名配置しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の公認心理師を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配布

児童が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会の開催や各学校内での研修会の運営支援を行い、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い、情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

教育支援センターは、学校不適応等により登校できないでいる児童生徒が社会的自立に向けて学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ21」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、7名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「公認心理師」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施しするとともに、家庭から出られない児童生徒のために、巡回指導員を配置し、家庭訪問等の支援を行います。更に、月1回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の学校復帰を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 708人
学級数 27学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。令和2年度には全国造形教育研究大会を行うことになっています。本年度も校内の研究教科を図画工作科として研究を進めています。また、学習を通して児童の思考力・表現力の向上を目指した指導の工夫をすることができるよう、日々研鑽に励んでいます。成田小学校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る参道活動があります。また、6年生はキャリア教育の一環として「キャリアトーク」を実施しました。様々な職業の方を本校にお迎えし、それぞれの職業のやりがいや工夫、苦労などを直接聞き、将来について考えることができました。



成田山参道での参道活動



キャリアトーク



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 57人
学級数 7学級

本校の周りには、学校林「駒の森」があります。この森は長年にわたり地域の方々と守り育ててきた里山で、地域の誇りでありシンボルでもあります。カタクリの花やアカハライモリに代表される動植物を生かした学習を展開しています。学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく 健やかに ~ふるさとを愛し未来をたくましく切り拓く~」を実現するために、児童の豊かな人間関係づくりを基盤とし学習指導の充実を図りながら、家庭や地域と連携し、地域とともに歩み開かれた特色ある学校づくりを進めています。また、学区には成田国際空港があることから、地域が発展するときに必要な能力を高める英語学習やキャリア教育などの学習のあり方を探り実践しているところです。

保護者・地域の方々には本校への関心が高く協力的です。「素敵な先輩シリーズ」と題した授業を通じて児童に貴重な体験で感動を持たせようとしています。



子どもたちと学校の飛躍を願って今年の文字『躍』



パラリンピックメダリストと特別授業



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 426人
学級数 17学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。

校庭の「大えのき」をシンボルとし、「夢に向かってがんばる子ども」を教育目標に、①「夢に向かって」(夢・希望) 作戦、②「わかった・できた」(挑戦) 作戦、③「ありがとう」(感動・感謝) 作戦といった3つの具体的な方策を立て、子どもたちの心に残る(記憶に残る)小学校にしたいと考えています。

また、遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」、「生活の手引き」の作成・活用や、生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。地域の方々とも連携を図りながら、児童の育成に力を入れています。



遠山中の生徒から自転車での、安全な登下校について指導してもらいました



3年生から6年生まで、学年毎に体育館で書き初め教室を行いました



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 421人
学級数 18学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲よし心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は1学級増の18学級となりました。保護者や地域の教育への理解や支援が厚く、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「キャリアトーク会」など、地域人材を活用し豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度もオリンピック・パラリンピックを活用した教育に取り組み、自国の文化や伝統に対する理解を図るとともに、外国人とコミュニケーションを取り、国際交流活動の充実に努めています。



アイルランド・パラ水泳チームの選手と交流しました



日本の伝統文化体験として、お茶をたてる体験をしました



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 46人
学級数 7学級

本校の学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、東は根木名川が注ぐ、緑豊かな田園風景が広がり郷土の文化や伝統が息づく歴史ある地域です。祖父母や保護者の多くが本校を母校とし、「ふれあいフェスティバル」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。本年度、「ふるさとを愛し 共に未来を拓く 児童の育成」を学校教育目標として掲げ、小規模校の特性を生かしたきめ細かな教育を推進して、変化の時代を主体的に生きる資質・能力の育成を図ります。また、生活科及び総合的な学習の時間を中心とした研究を通して、「多様に思考し、深め合う児童の育成」を目指し、考えるための技法を活用した授業及び学習の工夫に取り組んでいます。福沢諭吉翁由来の校訓「独立自尊」の教えを体得することを本校の「不易」とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



毎日のアクティブタイムで、持久力や敏捷性・柔軟性等を高めています



室町文化体験（茶道・華道）を行い、奥深さを肌で感じ取ることができました



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 58人
学級数 8学級

成田市街の中心から北西へ約3km離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳び検定に取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流等、小規模校のよさを生かした学校づくりを行っています。また、全校で「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」運動を推進するとともに、健やかな体づくりを目指して「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦しています。さらに、年間を通して下座の演奏にも取り組んでおり、運動会や地域の方々との交流行事、学校行事等で演奏を披露しています。本年も印旛地区小中音楽発表会での演奏を目指し、練習に励んでいます。



「一年生を迎える会」では、全校児童がレクで交流しました



「いきいき大銀杏の会」では、地域の方々へ下座を披露しました



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 127人
学級数 8学級

本校は明治6年創立の伝統ある学校で、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、家庭・地域との連携を図り、保護者・地域社会に信頼される学校づくりを推進しています。目指す児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え、進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切に、明るい挨拶ができ、基礎・基本をしっかり身に付けた子どもたちを育成しています。特に「あかるい あいさつ じぶんから さきにおうね 公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また、全校徒歩遠足(手つなぎ歩行会)や運動遊び(杉の子タイム)や縦割り班清掃などの異学年交流(杉の子班活動)や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協力性・協調性を育てています。校内研究では、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、算数科の研究に取り組んでいます。



「縦割り班での清掃」
下学年に清掃の仕方を優しく教えます

あ かるいあいさつ
じ ぶんから
さ きに
い おうね 公津っ子

「あじさい運動」
気持ちの良い挨拶を心がけています



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 263人
学級数 13学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、創立48年目を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。学校教育目標は「新しい時代を創造する 心豊かで たくましい児童の育成」であり、合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」のもと、263人の児童が各教科の学習をはじめ、学校行事、花の栽培、運動・音楽の課外活動等に熱心に取り組んでいます。

本校は学校支援地域本部事業の推進と家庭・地域との連携強化に努め、「地域とともに歩む学校」を目指しています。また、本年度は「確かな学力」「豊かな心」「健康・安全・体力の向上」等の5つのプロジェクトを決めて、学校全体で学校教育目標の具現化に努めています。



花いっぱい運動



歌声集会



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 584人
学級数 22学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、584人の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。全職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人一人の主体性や特性が活かされる組織運営を目指すとともに、学校・家庭・地域との深い信頼と連帯の中で、子ども一人一人の「生きる力」を育てています。そして、「《夢を持ち 未来を拓く》」確かな学力を身に付け、心豊かで、健康な子どもを育てる」の学校教育目標のもとで、本年度も学校・家庭・地域が一致団結して「よく遊び よく学び よく働くからべっ子」を育てています。



3～5年生の合唱部が成田市役所にてすてきな歌声を披露しました。



6年生総合的な学習の時間
Pride of NARITA



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 231人
学級数 12学級

昭和50年に成田ニュータウン3校目の小学校として開校しました。橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、碧い芝生のある広いグラウンドが自慢です。昨年度末には校舎東棟大規模改造工事が完了し、4月から新しい校舎での学習もスタートしました。

「大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-」を学校教育目標に、「よく考えて進んで学ぶ子」「思いやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」を目指す児童像としています。本年度は研究テーマを「自己肯定感を育む道徳授業のあり方」とし、互いの違いを認め合い理解しながら、他者を尊重する態度の育成に努めています。また、地域、保護者と学校との双方向の協働をめざし、保護者の皆さまにゲストティーチャーとして授業に参加していただいたり、地域に向けて授業公開を行ったりしています。



6年 総合「キャリアトーク」



1年 道徳科「とうもろこしができた」



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 195人
学級数 8学級

昭和52年4月に加良部小学校から分離、向台小学校の一部を借用して開校、今年で創立43年目を迎えました。施設面では昨年度バックネットと登り棒が新しくなりました。5月開催の陸上大会や6月開催の運動会に向けて、朝から元気に運動している子どもたちの姿が見られます。

本年度は、児童数195人、通常学級6学級、特別支援学級2学級の合計8学級でスタートとなりました。学校目標に「強くて新しい学校」、「やさしい子・かしこい子・元気な子」を掲げ、「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成」に努めています。特色ある教育活動として、思いやりやリーダー性の育成を図るため、縦割り交流活動「すすく班」での全校遠足、清掃、定期的なレク活動、縄跳び大会等、様々な取組を行っています。今年は「サインはV～何事にもあきらめず最後まで頑張る新山っ子～」を合言葉に学校づくりを進めています。



全校遠足赤坂公園



新しくなったバックネット



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 845人
学級数 31学級

本校は、成田ニュータウンの西部に位置し、創立42年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子 (徳育)」「自ら学びとる子 (知育)」「健康でたくましい子 (体育)」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、様々な業種のゲストティーチャーによるキャリア教育「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取組をしています。子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



おなか元気教室



ありがとうの思いを伝える会



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 282人
学級数 14学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

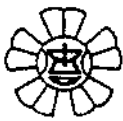
本校は教育目標「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」とし、教育活動の充実に努めています。本年度も「チーム玉造」、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、「やさしく・かしこく・たくましく」を合言葉としています。特に、「玉造小スタンダード」をもとに、学習のしつけや家庭学習を習慣化することで基礎基本の定着を図っています。また、LD・ADHD等通級指導教室「スマイル」を活用して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を充実させています。そのほか、縦割り班活動や縦割り清掃に取り組んだり、地域の方に読み聞かせや書き初めの指導をしていただいたりして、異学年や地域の方との交流を深めています。



地域の方による読み聞かせ



書き初め練習会



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 182人
学級数 8学級

本校は本年度創立38年目になります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指し、保護者からも信頼される教職員であることに努めています。

中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、「あいさつ運動」「ペットボトルキャップ回収運動」「花植え活動」など継続しています。本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なPTA活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱいの学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られます。



運動会の花「マーチングパレード」は、高学年が参加しています



社会福祉協議会の皆さんに協力していただき、花植え活動を行っています



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 187人
学級数 9学級

創立35周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりを目指して「神宮寺まつり」「どんど焼き」などの文化活動や各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催したりするなど、学校・家庭・地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもとに、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい」の神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



地域の学習ボランティアの方による「神小寺子屋」が始業前に開催されています



夏休みに成田北高校の先生を講師に招いて「おもしろ実験室」を行っています



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 553人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく 生きぬく人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢や希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度10年目）が推進されています。



3年総合「フラワーロード整備」ゆめ協議会の皆さんと花植え活動をしています



平成塾「ダンスを楽しもう！」成田国際高校ダンス部員に教えて頂きました



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 374人
学級数 18学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いを込めて付けたと言われてしています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。『夢と希望を笑顔で語る子どもたち』を合言葉に、一人一人の児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく、心豊かな子どもの育成」に努めています。本年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、民生委員による「交通指導・挨拶運動」・社会福祉協議会による「福祉疑似体験」において地域との連携を図り、「昔の遊び」等の活動を通して、人間関係づくりと豊かな心の育成を図っています。



車いすって不安だね！
「福祉疑似体験」



おはじきの遊び方を教わったよ！
「昔の遊び」



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 49人
学級数 7学級

本年度、学校教育目標を「未来を切り拓く かしこく 心豊かで たくましい児童の育成」とし、学校経営の重点を「確かな学力の向上」「豊かな心の涵養」「健やかな体の育成」「地域とともに歩む学校づくり」「チーム大須賀の学校力の向上」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」を目指して取り組んでいます。本校の学区は、伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には由緒ある神社仏閣が点在しています。「伊能歌舞伎」は市指定無形民俗文化財であり、保存会・後援会の方から、子どもたちが歴史や所作などを学んでいます。昨年の成田伝統芸能まつりでは、6年児童がこども歌舞伎を披露し、11月の伊能歌舞伎講演会には、4・6年児童が参加しました。地域の青少年相談員との連携も意欲的であり、その精力的な指導により、昨年度は成田市青少年交流綱引き大会でベスト4に輝きました。



たくさんとれたよ！
ベニアズマ



地域の方としめ縄作り



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 101人
学級数 8学級

本校は、成田市の東端に位置し、大栄インターチェンジの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。2年後には、新たに義務教育学校「大栄みらい学園」としてスタートを切ることになっています。また、印旛地区公立小学校では唯一制服のある学校です。

本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。4年生から6年生は、運動部や合唱部の課外練習に参加しています。特に、印旛郡市の音楽会に参加するなど、歌声の素晴らしさは訪れる人に感動を与えています。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携による花苗植え教室、グラウンド・ゴルフ、しめ縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。



みんなで力を合わせた
全校もちつき会



文化芸術による子供の育成事業
大阪フィルハーモニー楽団による演奏



成田市立前林小学校
(創立 明治15年)

児童数 57人
学級数 8学級

本校は、県道成田小見川鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約450戸、畑作を中心とした農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史とともに子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。本校の教育目標は、「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりを目指してーかしこく・やさしく・たくましくー」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、ア－アンドデイだいえいと交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



「運動会」(6月)
保護者・地域の方々とともに頑張ります



「全校芋ほり」(11月)
友達と力を合わせ、たくさん収穫します



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 90人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、道徳科を研究教科として位置づけ、ともに学び、高め合う喜びを見出すことのできる児童を育てようと努めています。また、読書タイムやドリルタイム、相互授業参観等、児童の基礎学力向上や教師の授業力向上に向けた取組に力を入れています。また、令和2年度の閉校事業に向け、総合的な学習の時間を活用して、生まれ育った地域を新たな視点で見つめ直したり、空港を教材にした「異文化理解」「安全教育」「福祉教育」「環境教育」の計画を立てたりし、地域愛を深める学習活動にも工夫して取り組んでいます。さらに、学校支援ボランティアや社会福祉協議会の方の協力のもと、読み聞かせ、生活科・家庭科・校外学習時の安全指導、グラウンド・ゴルフやしめ縄作りなど、地域の方との交流の場を積極的に設定し、地域社会とともに、児童の育成に努めています。



「世界を目指せ！
津富浦っ子イングリッシュ大作戦」



地域の方との交流
「グラウンド・ゴルフ大会」



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 121人
学級数 8学級

本校の学区は成田市東部に位置しています。学区は広く、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。

本校では、学校教育目標「学ぶ意欲が高く、心身ともに健康な児童の育成 ～明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成～」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を心がけ、自己肯定感を高め、人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイム、特別支援教育、生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、流しそうめん、餅つき大会、昔の遊びなどの地域との交流を深める行事を実施し、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。また、大栄地区の小中学校の統合を見据え、5つの小学校と1つの中学校で連携を推進しています。



敬老会の方たちと一緒に
「昔の遊び」



恒例の竹馬大会
竹馬でサッカーだってできます



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 837人
学級数 28学級

開校14年目となる本校は、学校教育目標に「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を掲げ、「みんな仲良し、じょうぶに育て！」を教職員・児童の合言葉にしています。「『好き』が増える子の育成—よりよい生活を作り出すための学びのあり方を追求する—」を研究主題として、「自分が好き、友達が好き、家族が好き、公津の杜小学校が好きな子」を育てたいと考えています。確かな学力・豊かな心・たくましい体を育むことを重点目標に定め、具体的な手立てとして「規律ある学習習慣の確立」、「より良い人間関係づくりの推進」、「体力の向上と食育」に力を入れて取り組んでいます。

本年度は国語科を研究教科としていますが、昨年度まで家庭科で研究していたことを活かしながら、本校独自の「つながりの表」をもとに、横断的な教科研究を進め、児童の表現力の育成について研究・実践しています。



食育は丈夫に育つ源です



音楽集会
歌声が響く学校です



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 331人
学級数 15学級

「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、開校13年目を迎えた本年度は、目指す児童像を「学ぶことをあきらめない子」、「人も物も大切にできる子」、「よく食べよく遊ぶ子」と、より具体的に示し、教育活動に取り組んでいます。また、自慢の広い校舎、広い廊下、広い校庭に加え、学校給食共同調理場の新築工事が始まりました。令和元年度末には完成予定です。

昨年度から取り組み始めた学校支援地域本部事業により、地域の教育資源の活用を図りながら「昔遊び活動」「さつまいも作り・野菜作り」「車いす体験」「米作り」「読み聞かせ」「ミシン指導」など多くの体験活動を充実させることができている。また、地域の方との交流を通じて優しさや感謝の心、豊かな人間性も育んでいます。



「音楽ランド」
全校で音楽を楽しみました



「ミシン学習」地域・保護者の協力を
得て効果的に実施しました



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 528人
学級数 18学級

「豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自らの進路を切り拓く生徒」を学校教育目標に掲げ、『生きる力』を育み、自信と誇りに満ちた成田中学校の創造』をスローガンに全教職員一丸となり教育活動を実践しています。「元気なあいさつ」と「さわやかな歌声」が響き渡る活気ある学校づくりに向け、生徒会や委員会が中心となり子どもたちの主体的な活動を推進しています。

また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。外国語教育において、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくり、数学科においては、少人数やティーム・ティーチングを取り入れたきめ細かな指導方法の工夫改善に取り組み、子どもたちの学力の向上を目指しています。



響き渡る歌声
充実した歌声活動



積極的なコミュニケーションを
取り入れた英語学習



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 383人
学級数 15学級

本校は、成田国際空港に最も近く文化と歴史を有した中学校です。本校の大きな特色は生徒の意欲と自主性を重んじ、どの行事でも生徒の意見を取り入れていることです。体育祭、合唱コンクールはもちろんですが、入学式は生徒会が司会・進行を行い、先生と生徒が一体となって新入生を心から迎えることを目的としています。地域の来賓の方や保護者からも好評を得ています。また、3学期に行われる予餞会では学年ごとに寸劇や群読、合唱などを披露し、3年生も素晴らしい合唱で1、2年生の気持ちに応えます。また、本校の通学区は広域で9割以上の生徒が自転車通学をしています。交通安全への意識を生徒自ら高めるために、入学予定の児童に対して3年生の生徒が各小学校に出向き自転車の乗り方教室を行っています。これからも歴史と伝統を受け継ぎ地域を誇れる生徒の育成に向けて日々の教育活動に取り組んでいきます。



予餞会の寸劇で先生も登場して
大盛り上がりします



新入生の入学前に先輩達が自転車の
乗り方を教えに行きます



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 130人
学級数 7学級

本校の学区は、成田市の中央に位置し、水田中心の旧久住第一小学区（北西部）と畑作中心の旧久住第二小学区（東南部）からなります。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い生徒数が増加し、本年度は全校生徒が130人となりました。平成29年度には校舎増築棟が完成しました。平成23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、小中連携教育の推進に努めています。また、平成30年度から久住中学校地域支援本部事業が発足し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制が整っています。本校は、次の6点を経営方針とし、特色ある学校づくりを進めています。

- 1 家庭と力を合わせ、よりよい生活習慣を定着させる。
- 2 学ぶ意欲を大切にしたい指導を展開し、確かな学力を身につけさせる。
- 3 集団の一員として望ましい態度や行動の在り方を身につけさせる。
- 4 教育環境を整え、落ち着いて学べる場をつくる。
- 5 生徒と社会がつながる「開かれた学校づくり」を推進する。
- 6 勤務時間を意識した働き方を進め、校務遂行の能率化を図る。



総合的な学習の時間の伝承芸能の発表



1学年職業人講話



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 516人
学級数 19学級

本校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと「文武両道 熱き西中魂」、「一生懸命がかっこいい」をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。また、目指す生徒像、「かたち」(感性 忍耐 知性 人間力)を経営方針に掲げています。昨年度からキャリア教育を推進し、全ての教育活動で基礎的・汎用的能力の育成をテーマに活動しています。全校道徳として外部講師を招聘し、国際理解や命の授業を行い、全校で一つのテーマについて取り組んでいます。また、学区の清掃ボランティアや敬老会へも生徒会組織として積極的に参加しています。

学校と家庭との連携については、4月に教育課程説明会を開催して学校経営方針の理解に努め、また7月には、PTA主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行ったりしています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を更に推進していきます。



体育祭
キャリアの視点【人間関係形成能力】



生徒総会
キャリアの視点【課題対応能力】



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 269人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台小学校・中台小学校・新山小学校・加良部小学校）から通学しています。自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。

本年度は101人の新入生を迎え、全校生徒269人が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。英語検定や漢字検定等の受検者も多く、合格率も向上しています。また、体育祭、けやき祭（合唱コンクール）等の学校行事への取組や、地域のボランティア活動への参加にも積極的で、地域で行われるクリーン作戦、敬老会、歳末助け合い街頭募金活動などに参加しています。更に、福祉教育の研究指定（H25～H27）を機に地域との密着力を次第に強くしています。

明るく活動的な生徒たちは、志を高くもち、目標に向かって毎日努力し、心身共に鍛えています。



空港インタビュー
通じる？…英語の力試し



3年生を送る会
感謝の思いを込めた大合唱



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 402人
学級数 15学級

成田ニュータウンの西に位置する本校は、橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部を学区とし、春には校地を取り囲む数十本の八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境に恵まれています。近年、学区の小学校を含めて児童生徒数が増加傾向にあり、開校から42年目を迎えた本校の生徒数は400名を超えました。これまでの伝統を受け継ぎつつも、昨年度に制服のデザインが一新されるなど、本校には新たな文化も加わっています。

学校教育目標は「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」であり、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、職員一同、全力で取り組んでいます。中でも、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っています。



体育祭
応援にも熱が入る



コミュニケーション能力の育成に
力を入れている英語学習



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 279人
学級数 11学級

本校は成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区（1～7丁目）、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小学校・神宮寺小学校・八生小学校の3校で9割以上を占め、本年度は合計279人で日々の学校生活を送っています。

平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」、「学習」、「合唱活動」、「無言清掃」、「団結力」の「当たり前5項目」を当たり前に行えるように、日々取り組んでいます。

学校・地域・家庭が一体となった学校づくりを目指し、本年度も次のことに取り組んでいます。

- ・本に親しみ、視野を広げ、学習意欲を高めるための朝の読書の実施
- ・ボランティア活動等、地域の活動への積極的な参加
- ・地域のボランティアの方による部活動支援及び図書室支援



毎年恒例 1年生家庭科
浴衣着付け教室



専門家によるDNA抽出の授業



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 227人
学級数 9学級

成田市の東部に位置し、大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の5つの学区からなる本校は、学区中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が田園を取り巻く自然豊かな環境にあります。

本校は「確かな学力 豊かな感性 強い体を持ち 未来をたくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標とし、その達成を目指して様々な教育活動を展開しています。また、令和3年度に予定されている義務教育学校「大栄みらい学園」(仮称)の開校に向け、本校の良き伝統を築くとともに、学区小学校・地域との連携を更に進めています。校内においても異学年交流を深めながら、生徒一人一人が何事にも一生懸命取り組むことのできる学校づくりと、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていく「共育」を推進しています。



3年生による新入生への交通安全教室



1～3年生による縦割り清掃風景



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 636人
学級数 21学級

本校は、平成25年に生徒数497人で開校して7年目を迎えました。生徒数は年々増加し、本年度は636人と、市内で最も大きな規模の中学校となっています。最新の施設設備と保護者をはじめとする地域の方々の温かな支援のもとで、生徒たちはのびのびと勉強に、運動にと頑張っています。

学校教育目標は、昨年度と同じ「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」です。特に本年度は、「秩序と魅力のある学校」、「安心と安全のある学校」を目指し、学び合い学習や自治的活動を推進するとともに、学校・家庭・地域の連携による健全育成に取り組んでいます。生徒が中心となって進める生徒会活動では、日頃から自分の役割を自覚し、互いに協力し合う姿が見られます。本年度は、入学式の進行を生徒が務めるなど、新たな取組に挑戦しています。



主体的な学びを促す学び合い学習



生徒が進行を務める入学式



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 388人
学級数 22学級

本校は、成田市で最初の施設一体型の義務教育学校として平成29年に誕生しました。義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間を、前期(1~4学年)、中期(5~7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。毎日の清掃活動をはじめ、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、「世界一仲の良い学校」として円滑な人間関係を築き生活する様子が見られます。また、全学年・全教科において協同学習を取り入れ、互いに認め、高め合える児童生徒の育成を目指しています。



1年生から9年生までの全校体育祭



5・7年生の小見川宿泊学習

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 143人
学級数 6学級

本園は、成田市東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を臨む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター、ナスパ・スタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を散歩したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友達となかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。

本年度は、3歳児2クラス39人・4歳児2クラス6人・5歳児2クラス2人、合計47人の新入園児を迎え6クラス143人でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



どんぐりやまつぼっくりの自然物も活用してレストランごっこに発展中



網をヒントに主体的にバーベキュー
「もうすぐお肉も焼けるね！」

5 学校給食センター

学校給食センターでは、学校給食を教育活動の一環として提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせ、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育むため、給食時間等の指導のほか、食に関する授業を行っています。

また、家庭教育学級や親子料理教室等で家庭に対する啓発活動、情報提供を行うことにより、家庭における食育を促しています。



栄養教諭による食に関する指導

(2) 献立の充実

ア 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で提供できるように、十分な配慮を行います。

イ 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるような食品の組み合わせや調理方法の工夫に努めます。

ウ 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ 成田産食材の使用として、主食となる米飯は全て成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、衛生管理体制を確立し、原材料及び調理後の食品の温度管理の徹底や二次汚染防止等に努めています。

また、職員の健康管理等を行うとともに、保健所の指導、助言を受けつつ、調理作業、衛生管理に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	生徒(12歳～14歳)の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食における摂取エネルギー全体の13%から20%			
脂質 (%)	学校給食における摂取エネルギー全体の20%から30%			
ナトリウム (食塩相当量) (g)	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2.5	3	4	4
ビタミンA (μ gRAE)	170	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	30
食物繊維 (g)	4以上	5以上	5以上	6.5以上

- 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。
亜鉛……児童(6歳～7歳) 2mg、児童(8歳～9歳) 2mg、
児童(10歳～11歳) 2mg、生徒(12歳～14歳) 3mg
- 2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

(4) 地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの五つ星給食レストラン」を開催しています。

(5) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度に施設整備基本計画を、平成22年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成26年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式(※)による施設の整備を進めていきます。

平成28年4月には、親子方式による3番目の施設となる公津の杜小学校学校給食共同調理場の



公津の杜小学校学校給食共同調理場

運用を開始しました。

本年度は、平成30年度から令和元年度の継続事業である美郷台小学校学校給食共同調理場新築工事を引き続き進めるとともに、平成小学校の敷地内に共同調理場を整備するために、設計業務を実施します。

※ 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式